

# 第三回紀州吉宗セミナー

内容：(物性)若手研究者数名による、各々の研究分野の現状及び最新成果の発表

開催趣旨：若手研究者にとって異なる分野の話聞くことは研究の視野を広げるために必要不可欠である。しかし、普段の研究生活において、学会・研究会への参加は当然ながら自身の専門に偏りがちになり、他分野に触れる機会は多くない。そこで、様々な手法(理論・実験を問わず)を用いて多様な物質の研究を進めている若手物性研究者が分野横断的に集まり、日ごろ触れる機会の少ない他分野の現状や、問題点を共有することを目的として、当セミナーを開催する。

近々完成予定の京速コンピューターに代表されるような計算機の発展に伴って、理論・シミュレーションを用いた研究はより現実的なモデルを取り扱えるようになってきている。一方、実験的手法を用いた研究では、これまで不可能であった極限状況を作り出すことが可能になる、あるいはこれまで測定困難であった相互作用を検出するなど、より理想的な系を扱うことが可能になってきている。第3回目となる今回は、理論研究者はより現実的な系へ、実験研究者はより理想的な系を扱うことを目指した各々のテーマを基に、それぞれの専門分野において理論と実験が協力して取り組める課題の模索に焦点をあてた議論をしていただく予定である。

本セミナー名は、紀州和歌山の地に生まれ、紀州藩の学問興隆に尽力した徳川8代将軍吉宗侯にあやかりたい気持ちから「紀州吉宗セミナー」とした。

日時：平成20年8月28日 13:50 ~ 20:00 (含、懇親会)

場所：和歌山大学フォルテワジマサテライト (※昨年までと会場が異なります。)

参加費：無料

※ ご講演いただく方々へのお願い：当セミナーの開催趣旨をご理解いただき、あまりにも専門的である部分は控えめに、背景を重視してご講演の準備をしていただきますようお願いいたします。

※ 当セミナーに関することは、お気軽に小田までお問い合わせください。

和歌山大学システム工学部  
精密物質学科 物性理論研究室  
小田将人

[moda@sys.wakayama-u.ac.jp](mailto:moda@sys.wakayama-u.ac.jp)

# プログラム

- 13:50 ～ はじめに  
和歌山大学 小田 将人
- 14:00 ～ 電気化学バイオセンサーへむけた  
電気化学ー蛍光 XAFS 複合装置開発  
原子力研究機構 本田 充紀
- 14:30 ～ 破壊という現象をミクロな視点からマルチスケールに考える  
名古屋工業大学 小林 亮
- 15:00 ～ ナノカーボン系の電気伝導シミュレーション  
ー拡散からバリスティック伝導への遷移と位相緩和現象ー  
東京大学・筑波大学 石井 宏幸
- 15:30 ～ 休憩
- 15:50 ～ 強相関電子系における高圧物性研究の最近の話題  
東京大学 松林 和幸
- 16:20 ～ 半導体表面吸着分子を用いたデバイスの提案  
和歌山大学 小田 将人
- 16:50 ～ 終わりに  
和歌山大学 篠塚 雄三
- 講演終了後 ～ 懇親会